

**わがまちの
「ちょっといい話」**
NO. 5
「道徳のまち笠松」推進会議
(笠松町教育文化課)

○**地域でのあいさつは**

知り合いに出会えば、「おはよう」「こんにちは」などとあいさつを交わします。笠松町では、あいさつを大切にしよう

うと学校・

家庭・地域で長年、粘り強く取り組んできました。しかし、最近、あいさつを交

わしたり、隣同志で声をかけ合う姿、元気な子ども達のあいさつ、そんなことが少なくなってきたのでは……という声を耳にします。みなさんは、どのような感じられていますか。

○**まは、あいつを……とびつぱせ**

近年、日本各地であいさつ運動が進められています。あいさつは、人のかかわりを大切にし、コミュニケーションをとる最初のきっかけとなるから



です。しかし、あいさつ言葉を交わしても、何かしつくりしないと感ずる人も多くいます。あいさつ言葉は交わすが、目も合わない、心も通わないことが少なくないからです。

毎日、共に生活する家庭・地域・職場

では、あいさつを交わし、心のかかわりを深め、心温ま

る生活をと誰しも願っているのに……

○**あいつと離れていこう**

どうすれば心を交わせるあいさつになるのでしょうか。町内にお住まいのAさんは、隣の人や登校する子ども達に出会ったら、まず目を合わせ、相手からのあいさつを待つことなく、こちらから「おはよう」と声をかけます。さらに、心を通わせるひと言「元気？」というよ

しやる。もちろん、時・場・人によりかける言葉は変わります。

○**心を交わし 顔の見える関係へ**

登校する子ども達に、「おはよう。車に気をつけていきなさいよ。」と声をかける。顔の見えるかかわりができれば、「はーい。行ってきます。」などの声が返ってくる。ほんのひと言ですが、その声と表情で互いの心を交わし、さわやかな気持ち共有できる。つい「がんばってね。」とひと声が出てしまうと

こうした

あいさつが

顔の見える

つながりを

つくり、人

と人とのか

かわりを広

め深めてい

きます。

